

# 校長室から

令和2年8月24日

## 元気に戻ってきてくれて ありがとう あせらず 一歩ずつ進みましょう

夏休みが終了しました。新型コロナウイルスの蔓延による長期間の臨時休業の影響で、例年よりも大幅に短くなってしまいました。皆さんはどのように過ごしていたでしょうか。8月の終盤を迎えてもまだまだ、この事態は収束に向かってはいません。世間では「新しい生活」「with コロナ」という言葉も定着しました。

そのような中で、皆さんの生活も大きな変化があり、様々な場面で心配りをしながら生活しなければならなくなりました。それでもこの2ヶ月間の皆さんの生活を見ると、学年の先生方、学級担任の先生方の指導をよく聞き入れ、しっかりとした生活をしているように思っていました。

先週、考査や授業の様子、そして部活動の様子を見ながら、長町中学校の生徒の皆さんが暑さに負けず、活動している場面に触れ、とてもうれしく思っていました。

今週から、平常通りの授業になります。体調や生活リズムを整え、しっかりとした生活を送ってほしいと思います。

1年生は、6～7月は授業中心の生活でしたが、今後は、学校行事も工夫しながら実施の予定です。そして、部活動の練習試合や大会も増えてくると思います。期末考査もあります。忙しい日々になると思いますので、自分の生活を振り返りながら、計画的に物事を進めていきましょう。

2年生は、これからは学校生活の中心的存在となります。これまでの先輩方が残してくれたプラス面をさらに引き継いで、学校をリードしてほしいと思います。

3年生は、学校行事で存在感を示してもらいながら、自分自身の目標や夢に向かって、一歩ずつ進んでほしいと思います。皆さんの部活動の最後の「けじめ」の試合や発表会等はとても立派だったと思います。きっと自分自身を奮い立たせてモチベーションを維持したり、低下させないような工夫をしたり、大変だったと思います。それでも不完全燃焼だった部分もあると思います。しかし、月日は待ってくれません。これまでの皆さんの悩み、喪失感をなんとか昇華させながら生活してほしいと思います。

3年生の生徒に聞いてみると「もう、大丈夫です。」「今は、高校入試に向けて頑張っています。」と前向きに話してくれる生徒も多くいますが、まだまだ悩んだり、落ち込んだり、喜んだり、一喜一憂する事も多いと思います。これまで以上に3年生の先生方やお世話になった顧問の先生方に相談したり、話を聞いてもらったりしながら、焦らず、自分の目標に向かって進んで下さいね。

昨年、行われたラグビーのワールドカップは日本チームが大活躍して、ベスト8まで進んだのは記憶に新しいところです。「ONETEAM」という言葉も有名になりました。その日本チームで大活躍した福岡選手が、先日、あるテレビ番組で次のような事を話していました。「(練習でも試合でも)辛くて、辛くて、もうダメだ、と何度も思った。だけど何回かのもうダメだのちょっと先に、もう少し自分の力がある事が分かってきた。その【ダメだ】の先をみつけるために何度も、何度も繰り返し取り組んだ。そういう練習を繰り返して、強くなったと思う。」深みのある言葉だと思います。

人間は皆、「もう限界かな」と思っている少し先に、自分にも分からない、眠っている力があるのかもしれないね。一学期後半になります。心身の健康に留意してあせらずに進みましょう。